

夏の里(シャコタン)

第1号 2011年7月12日発行

(生徒・保護者向け) 美国中学校事務便り 玉井耕平

季節は文月を向かえ自然に目をやれば、近くの野山では、アカシアやライラックの花が白やピンクそして紫の花を咲かせ始めています。

さて、今年度も学校事務だより「夏の里(シャコタン)」一号を発行しました。学校の様子なども交え季刊で発行の予定です。学校からの情報の一つとしてお目通し頂ければ幸いです。ご意見・感想などもお待ちしております。

今年度の予算はこんな内容です!

一年間の美国中学校の予算の概要についてお知らせいたします。昨年秋に全教職員で、今年度の教育計画を考えながら要望書を纏め提出させて頂きました。今回の予算はそれに対する回答ともいえます。

積丹町も、厳しい財政状況からやや抜け出しつつある様子で、昨年同様に、削減率が低くなっています。また、要望を踏まえて増額をされた部分もあります。教育委員会・役場に努力を頂いた貴重な財源ですので、学校の生徒の為に大切に使用させていただきます。

《 予算総額 2,692千円 》

・全体としては昨年度並みといえます。

1. 需用費(管理用) 1,032千円

・消耗品費に87,0万・医薬品費に2,7万・修繕費9,0万・印刷製本費4,5万の内訳です。この費目によつて、学校運営に必要な基本的な物品を賄います。

2. 役務費 20千円

・機械の調整やクリーニング用の予算です。

3. 備品購入費(管理用) 299千円

・生徒用の机椅子や掃除機の補充などをする予定です。

4. 需用費(教育振興用)

807千円

・消耗品費69,0万・印刷製本費4,5万・副読本費2,7万・研修図書費45万の内訳です。普段の授業・学力テストや学校行事の準備実施をするために欠かせない費目です。

5. 備品購入費(教育振興用)

534千円

・授業や学校行事等の教育活動に使う教材備品の購入等に使用します。既に、プラスバンドや音楽で使用するハーモニーディレクター等を購入していますがほかの物品については納品しだいお知らせいたします。尚、生徒用図書についてもこの費目から購入します。

9. 負担金補助及び交付金(申請中)

294千円

・中体連・中文連・吹奏楽コンクール、各種全道大会等への参加金負担金です。☆以上が今年度の予算の概要です。不況のせいかわり物品が値上げされないことに助けられています。校舎の補修等は、昨年度の耐震補強工事の際に、概ね実施できたので大掛かりなものは出無いと思います。

またまた 今年も 発行者の 自己紹介 . . .

<名前>玉井耕平(たまいこうへい)

<出身地>小樽市緑町

<生年月日>1948年5月12日...おうし座(心臓の好きな牛)

<勤務歴>仁木町立仁木小学校1974/5~1989/3

余市町立 栄 小学校1989/4~1999/3

古平町立古平中学校1999/4~2009/3 美国中学校2009/4~...

<趣味> 蟻の観察・人の観察・星の観察

<気がかり> 原発と放射能のゆくえ...人類と地球の未来が危ない! ヤマトは何処だ?

<仕事>

学校事務職員の大事な仕事は「財政財務・情報」と言って、学校で子どもたちがの学習活動に要する予算を取り纏めて要望したり、使い方を調整したり、その様子を伝えたりすることを通してより良い学校を作ることです。このため、企画・調査の段階で先生方からは勿論のこと生徒の皆さんからも意見を聞いたりもします。また実践する力を高めるために各地での研究会にも積極的に参加するようにしています。その他にも、立場を変えて学校の係として、教科書支給の仕事や給食費の徴収、職員の給与・共済関係の仕事なども沢山しています。

先輩とうじょう・・・その1・・・今井 論 さんの巻

今年度の企画として「中学校の先輩とうじょう」と云うコーナーを設けました。その一番手として、美国中学校の大先輩である今井さんにお話し、当時の様子などの話をお聞かせいただきました。以下今井さんに聞いたお話です。

『今井さん自身のこと』

昭和 24 年 7 月生まれ 美国中学校第 18 回卒業生。四人兄弟の長男 家業は大正時代からの金物屋さんだったそうです。

『中学校時代の様子』

生徒数は 3 百名前後で、各学年 2 クラス(クラス 45 名)でした。生徒数が急に増えたせいか、一年生の一つの学級は音楽室風の部屋があてがわれ、よその学級で音楽の授業があるたびに自分たちのホームルームを明け渡さなければならない「ジブシー」状態でした。冬は、当時、各家に除雪機なども無いので、みんなで道へ出てスコップなども利用しながら雪を歩く踏みつけて道を作っていました。

給食はなく、弁当を持つか家に帰るかでした。悪いことをすれば、先生になぐられる時代だったけれど、きかない子供はいても集団で一人をいじめるような事は無かったと思います。当時は今の消防署の近くに中学校・高校があってそこに小学校を加えて一緒に混じった三校合同運動会を大々的にしていたことが懐かしいですね。

『今思うこと』



・・・今井さんお忙しいところを有難うございました・・・

子供の数が少なくなって寂しいですが、今の中学生も会うと必ず挨拶してくれるのが嬉しいです。

時代のせいもあり、閉じこもってゲームをすることが多くなっているようにも聞きますが、昔は学校から帰ってきて手伝いが終わると、多くの時間を外で友達と過ごした記憶があります。

友達と過ごす時間を増やし、仲間との交流も大切にして欲しいと思います。

今となつては、無理なところもありますが、出来るだけ人口の目減りを止めて、住みやすく活力ある美国の町を作れたら良いと思います。

若い力にも期待しています。

ハーモニーディレクターが入りました。

今年度の、備品第一号として、ヤマハのハーモニーディレクターという優れものを購入しました。価格はケースを含めると 20 万円を下らないものです。

当初は、ほかの備品と共に夏休み前後に入れる予定が、吹奏楽コンクールの練習日程を考えた矢崎先生に『早く欲しい欲しい欲しい!』とお願ひされたこともあり六月中の搬入になりました。

『吹奏楽部で使うために買って頂きました。普通のキーボードは平均律でできており、そのまま和音を鳴らすと必ず濁ります。しかし、このハーモニーディレクターは和音を鳴らすと何の和音かを瞬時に判断し、純正調で鳴るので和音が濁りません。また、色々なリズムを思いのままにセットできるので練習にも効果的です。このハーモニーディレクターによって練習効率が格段にアップし、演奏もグレードアップすること間違いなしです。』

以上 吹奏楽部顧問矢崎先生の談話です。



『昭和の話』VOL 1

6月の10日に3年生の皆さんに私の生まれ育った時代である昭和に起きた出来事や生活の様子について話をさせてもらう機会がありました。私は段階の世代ですので、戦争直後の幼少期から、貧乏だった生活・新しい憲法・高度経済成期・キューバ危機・ベトナム戦争のことなど激動の時代であった『昭和の話』を密度濃く時間オーバーでさせてもらいました。

余り上手ではない語り口であったかもしれませんが、3年生の皆さんは最後まで真剣に聞いてくれましたし、話の感想も沢山寄せてくれたことについても大変嬉しく思っています。

今後も、私が皆さんに伝えられそうなことは、何らかの形で続けたいと思っています。3年生のみなさん、公民は勿論のこと社会科は面白いですよ！知れば知るほど興味がわいて、思わず虜になりそうな歴史的事実や国境線をめぐる物語などもあります。ワクワクしながら学びましょう・・・

昭和の時代に少年だった たまいこうへい